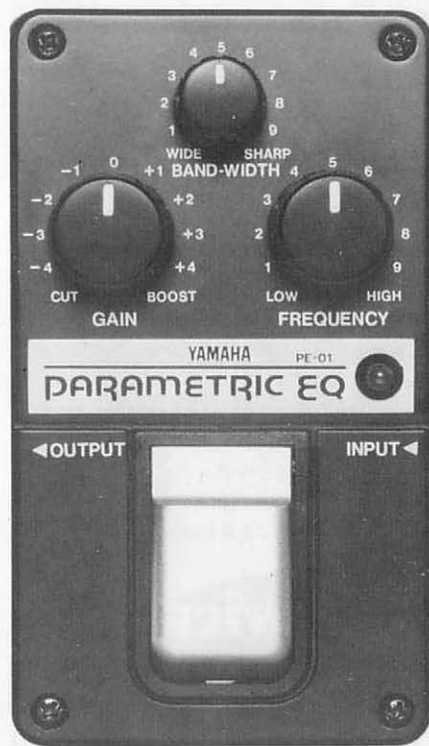


PARAMETRIC EQ

PE-01

¥15,000

イコライジングバンド幅、イコライジング周波数、そしてイコライジングゲインの計3つのパラメーターを自由自在に変えることのできるイコライザー。細かい音色補正から強烈な音色変化やハウリング・ノイズ対策まで、幅広く応用することができます。イコライジングバンド幅を決める BAND-WIDTH、イコライジング周波数を選ぶ FREQUENCY、イコライジングゲインを決める GAIN の3ファンクション。プロフェッショナルタイプのシングルサイズPSEユニットです。



SPECIFICATIONS

入力インピーダンス: 1MΩ
出力インピーダンス: 20kΩ
最大入力レベル: 0dB @ 0dB = 775mV, at 250Hz, GAIN at 0
最大出力レベル: +6dB @ 0dB = 775mV, at 250Hz, GAIN at BOOST
ノイズレベル: -86dB 入力換算 @ 0dB = 775mV, 入力ショート, GAIN at 0, -6dB/oct LPF 12.47kHz
周波数特性(エフェクトオフ): 20Hz~20kHz ±0.5dB
バンド幅(BAND-WIDTH): 7oct~1.5oct, GAIN at

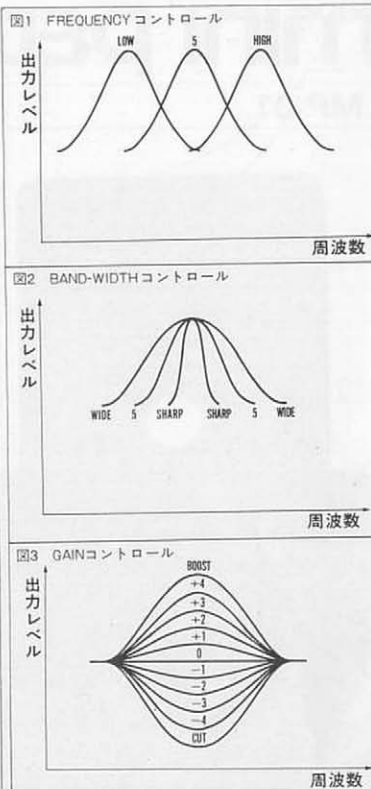
FUNCTIONS

BAND-WIDTH: 山や谷の部分の幅を変えることで特性カーブを調整するノブ。WIDE 側ではゆるやかな全体的イコライジング。SHARP 側では特定周波数帯に対するブーストやカットが可能です。
FREQUENCY: イコライジングの中心となる周波数ポイントを選ぶノブ。システムボードにマウントすればミニベダルMP-01によりコントロールできます。
GAIN: ブーストするかカットするかを決めるノブ。イコライジングポイントを中心に最大±18dBの調整が可能です。
INDICATOR: エフェクトオンを表示するLED。パワー表示も兼ねており、バッテリーの電圧が不足すると消灯します。
EFFECT FOOT SW: エフェクト機能のオン/オフを切り換えるスイッチ。パワースイッチではありません。心地よいクリックを持つ、ローノイズメカスイッチを使用。オフ時の原音がクリアです。
INPUT: 楽器や他のエフェクターのアウトプットと接続。プラグを差し込むと電源がはいるスイッチジャックです。
OUTPUT: アンプやミキサー、エフェクターなどのインプットと接続します。

BOOST、@ +3dB ポイント幅
周波数コントロール(FREQUENCY): 110Hz~3.8kHz
ゲインコントロール(GAIN): ±18dB
ファンクション: BAND-WIDTH, FREQUENCY, GAIN, EFFECT FOOT SW, EFFECT IND, INPUT, OUTPUT
電源: 9V乾電池 S-006P(システムボードマウント時はボード側からDC供給)
電池寿命: 連続使用約6時間 @ HI-TOP
寸法・重量: 70W×65H×125Dmm×420g(電池を含む)
付属品: 9V乾電池

ELECTRONICS

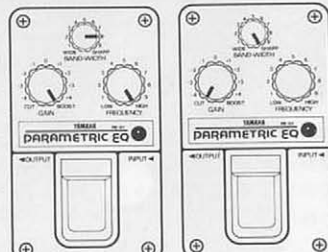
パラメトリックイコライザーとは、バンド幅(山や谷の部分の幅)、周波数、ゲイン(ブーストあるいはカットの程度)の3つの要素を自由にセットできるイコライザーのこと。3つの可変要素(パラメーター)を持つイコライザーという意味で、PARAMETRIC と呼ばれるわけです。図1を見てください。FREQUENCY(周波数)ノブの動きを描いたものです。図はGAINをブースト側にした場合ですが、カット側でもちょうど上下が逆になった形で同じように働きます。PE-01のイコライジング周波数は LOW(110Hz)~HIGH(3.8kHz)の範囲で自由に選択可能。LOW 側にはギターの低音部かベースの中音部における厚みや深さをコントロールできます。また、HIGH 側ではギター、ベースを問わず、弦の金属材質感を含んだ振動音やブライトなアタックを得るのに効果があります。PE-01をシステムボードにマウントした場合、このFREQUENCYノブの機能を、ミニベダルMP-01によってポルテージコントロールすることも可能。ワウベダルの効果が得られます。図2はBAND-WIDTH(バンド幅)ノブの動きを描いたものです。ブーストの場合ですがカットの場合も上下が逆になり同じように働きます。WIDE 側では山のすそ野が広くなり、なだらかなブーストやカットが可能。音の厚みや低音と高音のバランスを変える時はWIDE 側にします。またSHARP 側ではピークが急になるため、イコライジング周波数近辺のみのブーストやカットが可能。ミニベダルMP-01によってFREQUENCYをコントロールし、ワウベダル



的に使う時もSHARP 側の方が効果があります。さて最後のパラメーターはGAINノブ(図3)。これはどのぐらいブーストするか、あるいはどのぐらいカットするかを決めるもの。変化幅は±18dBですから、BOOSTでは約8倍に増幅し、CUTでは約1/8に押さえることができます。

A PIECE OF ADVICE

パラメトリックEQは、BAND-WIDTHをWIDEにすれば、エフェクターを多用した際のゲインの補正も可能です。ハウリングを防止する場合には、なるべく音色がかわってしまわないように、BAND-WIDTHを逆にSHARP 側にしてハウリングポイントのみを削ります。また、極端な周波数特性によるはてな音色づくりに使用する場合には、後にリミッターを接続すれば音が歪むのを防ぐことができます。ポルテージコントロールによってワウワウベダルの効果をつくる場合も、ベダル操作によって出力レベルが大きく変動するので、後にリミッターを接続して使うとよいでしょう。



高域を強調したトレブルブースターとしてのセッティング。
ハウリングを防止するためのセッティング。